

# **必要壁量チェック**

## 使い方説明書

Ver. 1.00

2011. 3. 22

110%Architectural design room



↑ ”必要壁量チェック”フォルダを開く

画像①

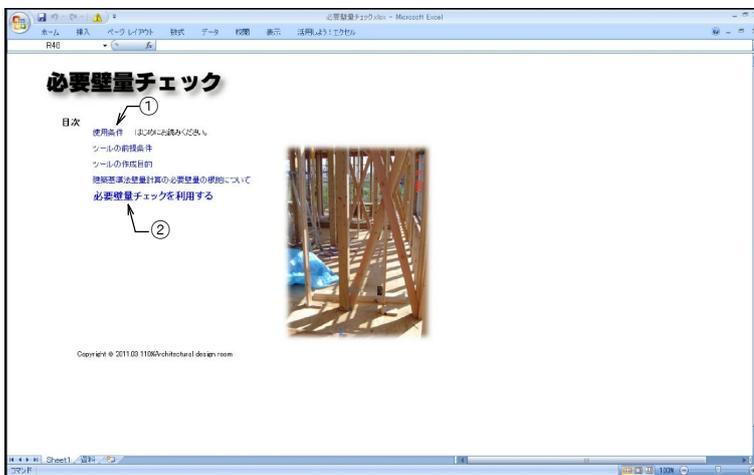
”必要壁量チェック”フォルダを開く（画像①）と、データフォルダと必要壁量チェック.xlsxファイルが入っています。



↑ ”必要壁量チェック.xlsx”ファイルを開く

画像②

”必要壁量チェック.xlsx”ファイルをダブルクリックして、（画像②）必要壁量チェックを起動します。  
(Windows Excel2007以上)



画像③

必要壁量チェックを起動すると、トップ画面が表示されます。（画像③）

使用条件をはじめにお読みください。（使用条件をクリック）

①

必要壁量チェックを利用するをクリックすると、メニュー画面に進みます。②

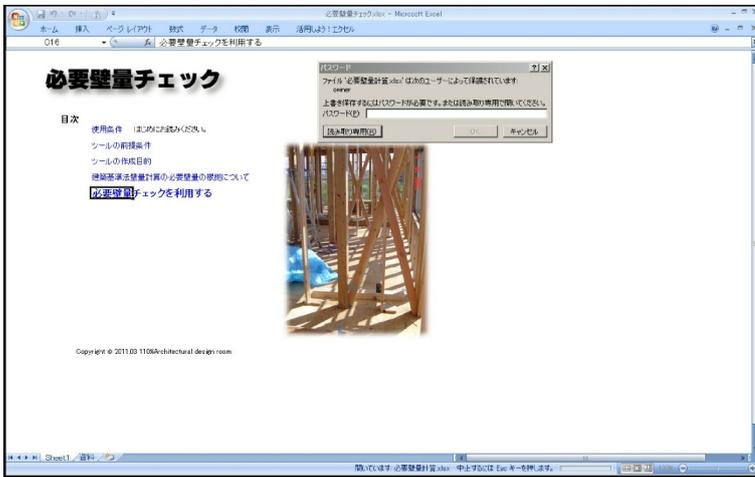


画像④

必要壁量チェックを利用するをクリックすると、パスワード入力ダイアログが表示されます（画像④）ので、パスワードを入力してください。

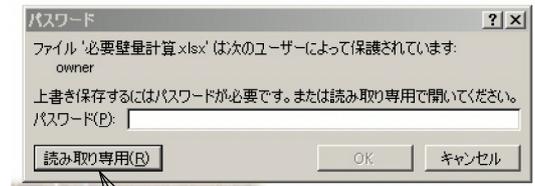


パスワード入力ダイアログ

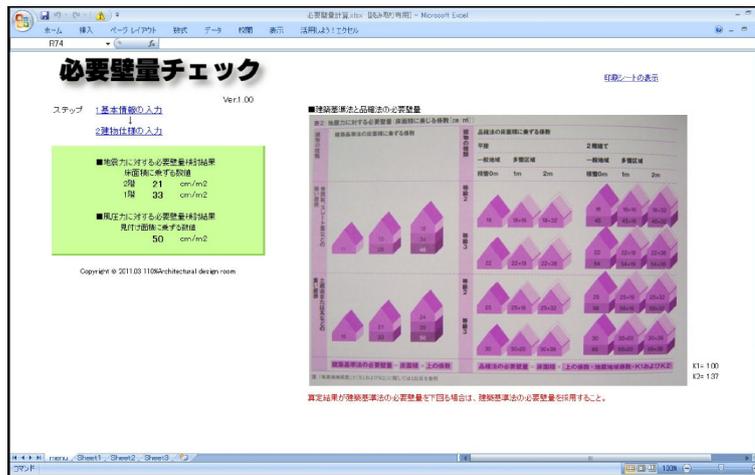


画像⑤

パスワードを入力すると、  
ファイル保護のパスワード入力ダイアログが表示されます（画像⑤）ので、  
”読み取り専用”をクリックして進んでください。



③ ファイル保護のパスワード入力ダイアログ



画像⑥

必要壁量チェックのメニュー画面が表示されます。（画像⑥）  
初期設定（参考）として、建築基準法必要壁量の重い屋根の場合の数値が表示されています。（画像⑦）



画像⑦

「建築基準法必要壁量の重い屋根の場合の数値」



画像⑧

「建築基準法と住宅の品質確保に関する促進法の必要壁量の数値」

建築基準法と住宅の品質確保に関する促進法の必要壁量の数値を  
参考として掲載しています。（画像⑧）



印刷シートの表示

メニュー画面の右上に、”印刷シートの表示”があります。（画像⑨）  
必要壁量検討結果とその詳細情報を記録として保存したい場合は、  
印刷シート画面で適宜印刷してください。



画像⑨

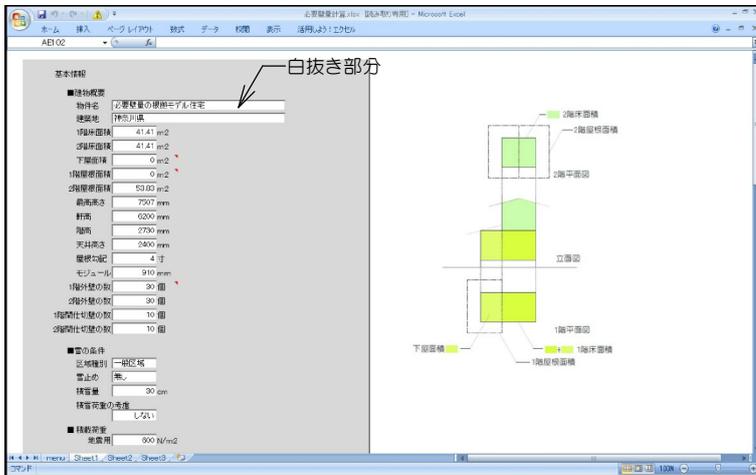
印刷シートの表示をクリックすると画面が表示されます。

ステップ 1 1 基本情報の入力

↓  
2 建物仕様の入力

画像⑩

メニュー画面の左上（タイトルの下）にあるステップ（画像⑩）の順番にしたがって、必要事項を入力します。

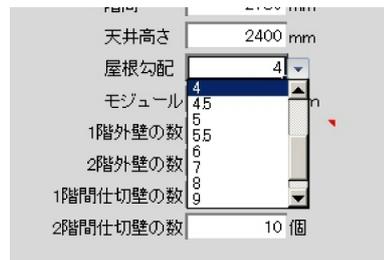


画像⑪

ステップ1. 基本情報の入力をクリックすると、基本情報入力画面が表示されます。（画像⑪）

白抜き部分に必要な事項を入力します。

入力方法は、キーボードからの直接入力と、ダウンロードから選択する2種類の方法があります。（画像⑫）



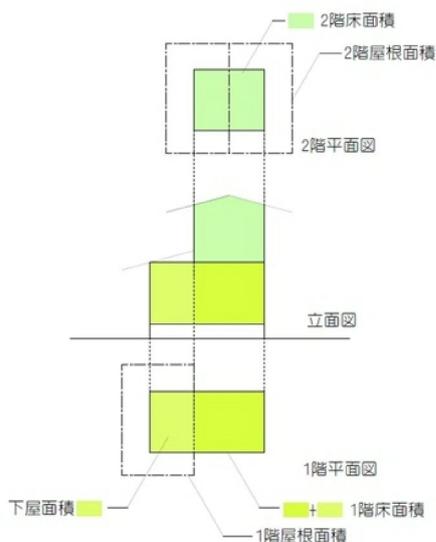
画像⑫

「ダウンロードからの選択による入力」

1階床面積	41.41 m <sup>2</sup>
2階床面積	41.41 m <sup>2</sup>
下屋面積	0 m <sup>2</sup>
1階屋根面積	0 m <sup>2</sup>
2階屋根面積	53.83 m <sup>2</sup>
最高高さ	7507 mm
軒高	6200 mm

画像⑬

”赤に▼マーク”がある部分にマウスポインタを乗せると、入力内容に関する補足説明が表示されます。（画像⑬）

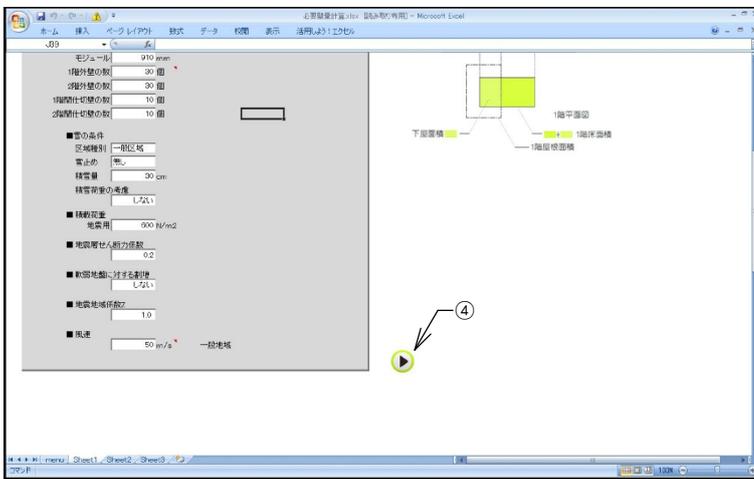


画像⑭

入力内容に関する補足説明を掲載しています。（画像⑭）

三角マークをクリックすると、メニュー画面に戻ります。(画像⑭)

④

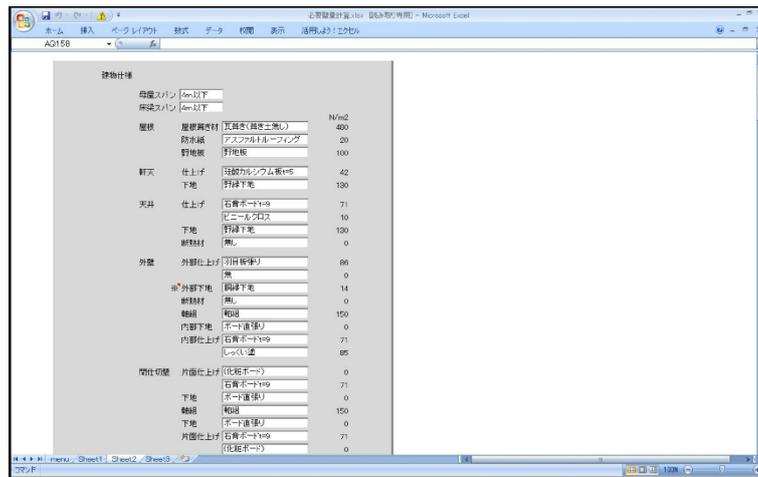


画像⑭

メニュー画面に戻り、ステップ2. 建物仕様の入力に進みます。  
(画像⑮)

必要事項を白抜き部分に入力(ダウンリストからの選択による入力)

を行い、全て入力が終わるとメニュー画面に三角マークをクリックして戻ります。



画像⑮

■地震力に対する必要壁量検討結果  
床面積に乘ずる数値

2階	21	cm/m2
1階	33	cm/m2

■風圧力に対する必要壁量検討結果  
見付け面積に乘ずる数値

50 cm/m2

メニュー画面に、  
ステップ1と2の入力情報に対する必要壁量が表示されます。